

表 10 対象者の背景

	がん高齢者 n=47	徐々に衰退する高齢者 n=49
性別	男性 22名(46.8%) 女性 25名(53.2%)	男性 16名(32.7%) 女性 33名(67.3%)
平均年齢	79.3±7.8歳 (66~94)	87.4±6.9歳 (68~99)
主疾患	肺がん 10名 (21.3%) 胃がん 5名 (10.6%) 大腸がん 5名 (10.6%) 肝臓がん 5名 (10.6%) 子宮がん 1名 (2.1%) 乳がん 1名 (2.1%) その他のがん 19名 (40.4%) 不明 1名 (2.1%)	脳血管疾患 13名 (26.5%) 心疾患 6名 (12.2%) その他の循環器系の疾患 2名 (4.1%) 上気道感染 1名 (2.0%) 閉塞性肺疾患 5名 (10.2%) その他の呼吸器系の疾患 4名 (8.2%) 肝硬変 1名 (2.0%) 尿路感染 1名 (2.0%) 腎不全 1名 (2.0%) その他の腎・泌尿器疾患 1名 (2.0%) 慢性関節リウマチ(脊椎を除く) 3名 (6.1%) 大腿骨骨折 1名 (2.0%) アルツハイマー型痴呆 1名 (2.0%) その他の痴呆症 1名 (2.0%) パーキンソン病 1名 (2.0%) その他の神経系難病 1名 (2.0%) その他の傷病名 3名 (6.1%) 病名なし 1名 (2.0%) 不明 2名 (4.1%)
在宅ケア 日数(中央 値)	46日 (1~2701)	198日 (2~2590)
病名告知 の有無	有 20名 (42.6%) そのうち 医師から告知 18名 (90.0%) 家族から告知 1名 (5.0%) 不明 1名 (5.0%)	有 13名 (26.5%) そのうち 医師から告知 13名 (100.0%) 家族から告知 0名 (0%) 不明 0名 (0%)
予後告知 の有無	有 13名 (27.7%) そのうち 医師から告知 9名 (69.2%) 家族から告知 5名 (38.5%) 上記以外の人から 2名 (15.4%)	有 10名 (20.4%) そのうち 医師から告知 9名 (90.0%) 家族から告知 1名 (10.0%) 上記以外の人から 1名 (10.0%)
同居者の 有無	有 42名 (89.4%) 配偶者 22名 (52.4%) 娘 20名 (47.6%) 嫁 15名 (35.7%) 息子 18名 (42.9%) 孫 19名 (45.2%) その他 7名 (16.7%)	有 47名 (95.9%) 配偶者 17名 (36.2%) 娘 21名 (44.7%) 嫁 14名 (29.8%) 息子 20名 (42.5%) 姉妹 1名 (2.1%) 兄弟 0名 (0%) 孫 19名 (40.4%) その他 13名 (27.7%)
同居人数 (平均)	3.2±1.9人 (0~7)	3.0±1.5人 (1~6)
痴呆性老 人の日常 生活自立 度	正常 21名 (44.7%) I 9名 (19.1%) II 4名 (8.5%) III 5名 (10.6%) IV 1名 (2.1%) M 5名 (10.6%) 不明 2名 (4.2%)	正常 3名 (6.1%) I 3名 (6.1%) II 9名 (18.3%) III 12名 (24.5%) IV 12名 (24.5%) M 5名 (10.2%) 不明 2名 (4.1%)

3) ケアプログラムの有用性確認と妥当性判断に基づくケア項目抽出のためのケア実施状況の分析

(1) タイプA：がん高齢者ターミナルケア

① 対象は47名であったが、導入期47名、小康期32名、臨死期46名について分析した。これは小康期の期間がなかった利用者15名がいたこと、臨死期に1名が入院したことによる。

② ケアの期間別項目の特徴

a. 疼痛その他の苦痛症状のマネジメント

a) アセスメント・ケア行動・アウトカム（期待される成果）については10%未満の項目はない。アセスメントについてはいずれの時期でもほとんどの項目で50%以上であり、20%未満の項目はない。

b) 判断の実施率は他より全体に低く、10%未満のものが導入・小康・臨死の各期に出ており、ばらつきも大きい。これらの項目は事例によって判断項目が異なってくるのでケアプログラムには残さない方がよいと考える。

c) アセスメントはいずれの項目も実施率が高い。実施率が高いのは各カテゴリーの特徴に合った順位になっている。

d) アセスメントとケア行動の実施率はアセスメントがケア行動より高かった。①アセスメント、②ケア行動、③アウトカム（期待される成果）の順に出現率として内訳を見ると、①>②>③であるが、アウトカム（期待される成果）も比較的高く、各項目が34～83%であった。

b. 心理精神的援助・社会的援助のアセスメント実施は高く26～100%であり、ケア行動は受容・説明・確認が高い。アウトカム（期待される成果）も比較的高い。

c. スピリチュアルペインへのアセスメント・ケア行動・アウトカム（期待される成果）ともに30～80%であり、比較的低い。

d. デスマネジメントはいずれもアセスメント・ケア行動率が55～96%以上で高く、アウトカム（期待される成果）も62～83%で比較的高かった。

e. 家族・親族との関係調整はアセスメント・ケア行動率は57～98%で高く、アウトカム（期待される成果）も58～89%であった。

f. 基本的ニーズへのアセスメント・ケア行動・アウトカム（期待される成果）は比較的高かった。

g. 喪失・悲嘆・死別サポートは89%以上で、アセスメント・ケア行動・アウトカム（期待される成果）とも高かった。

以上から、アセスメント・ケア行動・アウトカム（期待される成果）は関連性が高い傾向があるといえる。

③ 死別後訪問は平均1.23±0.476回（0～2回）であった。死別後ケアはアセスメント、遺族の思いの受け止め、アウトカム（期待される成果）としては満足のいく看取りを確認98%、立ち直って生活に戻れる85%、心身に異常がない77%であった。

(2) タイプ B：徐々に衰退する高齢者ターミナルケア

- ① 対象は 47 名であったが、導入期 48 名、小康期 42 名、臨死期 49 名について分析した。
- ② ケア期間別項目の特徴
 - a. 基本的ニーズへの援助はアセスメント実施 27～98%、ケア行動 12.5～98%、アウトカム（期待される成果）27.1～90%であった。判断に関しては 6.3～79.2%の実施であり、他より低い傾向であった。
 - b. 社会的援助はアセスメント・ケア行動実施は比較的高く、アウトカム（期待される成果）は 63～92%でこれも高い。
 - c. 家族・親族の関係調整はアセスメント 56～100%の実施率とアウトカム（期待される成果）80～94%で比較的高かった。
 - d. デスマネジメントはアセスメントが比較的低く 63～69%、ケア行動は 52～83%であった。アウトカム（期待される成果）は 63～83%で比較的差がついた。
 - e. 心理・精神的援助はアセスメント 23～90%、ケア行動は 58～81%、アウトカム（期待される成果）は 67～83%であった。タイプ A より実施率は低かったがアウトカム（期待される成果）は同程度であった。
 - f. スピリチュアルペインの援助はアセスメント 64～87%、ケア行動 29～64%、アウトカム（期待される成果）64～71%であり、実施が比較的低かったがアウトカム（期待される成果）は比較的良かった。
 - g. デスマネジメントはアセスメント 63～69%、ケア行動 52～83%、アウトカム（期待される成果）63～83%であり実施とアウトカム（期待される成果）が比較的近似していた。
- ③ 死別後訪問は 1.29 ± 0.842 回であった（0～5 回）。死別後ケアはアセスメントは遺族の思いの受け止め、ケア行動は思いを引き出す、後悔の思いの修正、看取りをほめる、アウトカム（期待される成果）は看取りの満足を確認、立ち直って生活に戻れる、心身の大きな異常がない、などであった。

タイプAがん高齢者ターミナル出現頻度(導入期) N=47

1.疼痛その他の苦痛症状のマネジメント 痛みをはじめとした悪心・嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、呼吸困難などの身体症状を緩和すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)	判断	件数	出現率 (%)	ケア行動	件数	出現率 (%)	アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
□発熱または感染症状の有無	45	95.7	□身体症状の悪化・悪化・脱水	34	72.3	□通常の生活を基にした十分な食事とれる状態ではないがなるべく食べられるものを用意してあげる必要があることを説明	39	83.0	□無理せず、進向にあった食事ができる	39	83.0
□呼吸状態の観察	44	93.6	□身体症状の悪化・悪化・食欲不振	34	72.3	□腫瘍治療剤、緩下剤、便秘薬、深層などにて排便コントロールをはかる	37	78.7	□呼吸困難がない	32	68.1
□水分摂取量 (in-outバランス)	43	91.5	□身体症状の悪化・悪化・浮腫	32	68.1	□水分摂取量の調整	36	76.6	□凶悪性筋力をおこなさない	29	61.7
□消化器症状の観察	42	89.4	□身体症状の悪化・悪化・便秘	32	68.1	□体動機があわてず、ゆっくり、体みながら移動するように指導する	35	74.5	□脱水がない	28	59.6
□今までの経過(問題など)	40	85.1	□身体症状の悪化・悪化・癌の浸潤	28	59.6	□がんの進行状況・転移の有無の確認	34	72.3	□自分のペースで移動できる	28	59.6
□嚥下状況	36	76.6	□身体症状の悪化・悪化・呼吸困難	25	53.2	□主治医と相談し、補液を行うべきか本人・家族の意向もふまえて検討する	34	72.3	□新たな悪病が出現しない	27	57.4
□検査結果	27	57.4	□身体症状の悪化・悪化・嘔吐・嘔気・嘔吐	24	51.1	□呼吸しやすい体位を確保する	30	63.8	□嘔吐がない	26	55.3
□心音の確認	27	57.4	□身体症状の悪化・悪化・種痛熱	19	40.4	□嚥下状況が悪ければ、無理に経口より摂取しないよう薬に指導する	29	61.7	□新たな浮腫がない	23	48.9
□浸出液の有無	18	38.3	□身体症状の悪化・悪化・脱水貯留	18	38.3	□クーリング	20	42.6	□嘔気・嘔吐が軽減できる	22	46.8
□痰液以外の苦痛の有無	43	91.5	□身体症状の悪化・悪化・胸水貯留	15	31.9	□吸引器・吸入器などの導入の検討	17	36.2	□発熱する	21	44.7
□皮膚の観察(湿度・乾燥・圧傷)	42	89.4	□身体症状の悪化・悪化・器機性筋炎	15	31.9	□リンパマッサージ	17	36.2	□倦怠感・苦痛が増えない	32	68.1
□ステロイドの有無(発赤・水泡形成・表皮剥離)	34	72.3	□身体症状の悪化・悪化・心不全	10	21.7	□抗生剤の内服の検討	10	21.3	□新たな発熱が出現しない	37	78.7
□遠隔感の有無	28	59.6	□身体症状の悪化・悪化・吐血	5	10.6	□本人の訴えを継続する	39	83.0	□薬剤に関するトラブルがない	36	76.6
□意識レベル(必要以上にアプトしていないか)	42	89.4	□身体症状の悪化・悪化・下血	3	6.4	□マッサージュ	30	63.8	□薬剤に副作用が継続する	29	61.7
□疼痛の程度	41	87.2	□身体症状の悪化・悪化・倦怠感	35	74.5	□ステロイドに合わせた褥瘡予防処置	37	78.7	□疼痛コントロールができていない	29	61.7
□疼痛の緩和方	38	80.9	□身体症状の悪化・悪化・しびれ	10	21.3	□症状にあわせた保冷・暖房処置	36	76.6	□本人が望む疼痛状態と副作用出現のバランスが保たれている	25	53.2
□薬物使用に対する本人・家族の理解感はないか	35	74.5	□スキントラブル・皮膚トラブル	28	59.6	□クッションを用いたり、体位の工夫	37	78.7	□副作用が継続する	30	63.8
□疼痛増強時の対応方法が本人が理解しているか	33	70.2	□スキントラブル・褥そう	25	53.2	□マッサージュ	29	61.7	□本人が副作用症状について理解できる	16	34.0
□副作用症状の有無	37	78.7	□ペインコントロール・疼痛域	18	38.3	□スケールを使用し痛み程度の目安を判断する	20	42.6	□家族が不安なく、疼痛コントロールができる	34	72.3
□副作用症状について本人・家族は理解しているか	36	76.6	□ペインコントロール・意識減	16	34.0	□除痛剤(ステップ1~3)を使用し、どの段階で疼痛コントロールされているか把握する	16	34.0	□疼痛増強時は、我慢せず、医師に相談できる	34	72.3
□本人の望む疼痛と副作用のバランスが保たれているか	28	59.6	□ペインコントロール・薬物療法に関する低伝導	10	21.3	□プロトコルに沿って、薬剤の変更、増量などを要する	15	31.9	□家族が副作用症状を理解できる	29	61.7
□耐えられる副作用と耐えられない副作用	27	57.4	□ペインコントロール・中毒域	1	2.1	□音楽療法	12	25.5			
□薬の使用法について理解しているか	37	78.7	□副作用症状・便秘	24	51.1	□アロマラベンダー	7	14.9			
□疼痛増強時の対応方法	37	78.7	□副作用症状・嘔気	14	29.8	□副作用症状として現れてくること(嘔気・嘔吐、便秘、呼吸抑制など)を本人・家族に説明する	32	68.1			
□鎮痛剤の副作用を利用者・家族が知っているか	34	72.3	□副作用症状・嘔気・嘔吐	13	27.7	□いずれかの副作用症状が現れたときには主治医に相談し、告知する	32	68.1			
□家族が自分で行える緩和ケアを知っているか	31	66.0	□副作用症状・混乱	6	12.8	□腫瘍治療剤、緩下剤、便秘薬、深層などにて排便コントロールをはかる	30	63.8			
			□副作用症状・口渇	5	10.6	□副作用症状として現れてくること(嘔気・嘔吐、便秘、呼吸抑制など)を本人・家族に説明する	22	46.8			
			□副作用症状・呼吸抑制	4	8.5	□副作用症状として現れてくること(嘔気・嘔吐、便秘、呼吸抑制など)を本人・家族に説明する	39	83.0			
			□副作用症状・経痛感	2	4.3	□副作用症状として現れてくること(嘔気・嘔吐、便秘、呼吸抑制など)を本人・家族に説明する	37	78.7			
			□副作用症状・尿閉	2	4.3	□薬物の使用法の指導・教育	33	70.2			
			□副作用症状・ミオクロヌス	0	0.0	□疼痛増強時の対応方法を利用者・家族に指導する	33	70.2			
			□ペインコントロールに関する家族の知識・問題ない	19	40.4	□副作用症状として現れてくること(嘔気・嘔吐、便秘、呼吸抑制など)を本人・家族に説明する	32	68.1			
			□ペインコントロールに関する家族の知識・使用方法がわからない	17	36.2						
			□ペインコントロールに関する家族の知識・副作用症状がわからない	16	34.0						

2. 心理・精神的援助 ターミナル期にみられる利用者・家族の不安、いらいら、孤独感、おそれ、うつ、怒り、動揺に対してケアチームメンバーが傾聴し、共感し、利用者が安心して自分の考え、気持ちが出せるような関係

アセスメント内容	件数	出現率 (%)	判断	件数	出現率 (%)	ケア行動	件数	出現率 (%)	アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の精神的負担	47	100.0	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・不安	45	95.7	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の思いを引き出し、受容する	45	95.7	<input type="checkbox"/> 精神的な安定をはかることができる	40	85.1
<input type="checkbox"/> 在宅療養の中で困っていること、不安に思うこと、心配していること、手伝ってほしいこと	46	97.9	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担動揺	27	57.4	<input type="checkbox"/> 在宅療養することは可能であることを伝える	45	95.7	<input type="checkbox"/> 在宅生活を安心して送る自信がもてる	34	72.3
<input type="checkbox"/> 精神状態の有無、観察(言語的、非言語的)	45	95.7	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担恐れ	19	40.4	<input type="checkbox"/> 病状が変化することで、今の思いに変化があらわれてよいことを伝える	45	95.7	<input type="checkbox"/> 今後どのように過ごしていくかを裏取りできる	32	68.1
<input type="checkbox"/> 本人・家族の病状理解・予後の理解	45	95.7	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担苛立ち	12	25.5	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の思いを医師に伝えられたいときは、代弁者となる	41	87.2	<input type="checkbox"/> 夜間良眠できる	25	53.2
<input type="checkbox"/> 利用者に対する家族の反応	44	93.6	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担孤独感	9	19.1	<input type="checkbox"/> 変化することにごうじょうたいかを確認する予定であることを説明する	39	83.0	<input type="checkbox"/> 夜間不安なく過ごすことができる	24	51.1
<input type="checkbox"/> 在宅療養の中で求めるものや思い	43	91.5	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担怒り	9	19.1	<input type="checkbox"/> 誤っている認識については、修正をする	31	66.0			
<input type="checkbox"/> 在宅療養に対する理解度	43	91.5	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担うつ	7	14.9	<input type="checkbox"/> なぜ眠れないのか、利用者・家族の思いを引き出す	22	46.8			
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の今までの治療してきたことに対する思い	42	89.4	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担不安があり眠れない	13	27.7	<input type="checkbox"/> 利用者・家族と相談し、必要であれば入眠剤、安定剤など使用	21	44.7			
<input type="checkbox"/> 表情が強い、言葉数	39	83.0	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担痛みがあるために眠れない	12	25.5	<input type="checkbox"/> 入眠障害因子を取り除く	21	44.7			
<input type="checkbox"/> 否定的言動が増えていないか	32	68.1	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担せん妄の出現	11	23.4	<input type="checkbox"/> 鎮痛剤の増加	12	25.5			
<input type="checkbox"/> 夜間良眠できているか	43	91.5	<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担寝具などの生活環境のために眠れない	5	10.6						

3. 社会的援助 必要なケアが適切に提供されるように、人、物、経済面等の環境作りを支援すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 医療者間(医師、看護師等)の連携状況	47	100.0
<input type="checkbox"/> 緊急時に家族・利用者が専門職へ連絡をとる方法を知っているか	47	100.0
<input type="checkbox"/> 緊急時におけるファーストコールの確認	47	100.0
<input type="checkbox"/> 住診医の有無	45	95.7
<input type="checkbox"/> 利用者、家族の思いを他の医療スタッフが知っているか	45	95.7
<input type="checkbox"/> ケアマネージャーを中心としたケアプランを多職種で共有しているか	39	83.0
<input type="checkbox"/> 専門職と家族・利用者間に認識のずれはないか	45	95.7
<input type="checkbox"/> 専門職との関係を把握	44	93.6
<input type="checkbox"/> 必要な介護用品(エアーマット、モーターベッド、ポータブルトイレ、車椅子など)があるか	43	91.5
<input type="checkbox"/> 利用者の外出(通院)状況の把握	33	70.2
<input type="checkbox"/> 在宅療養のために1ヶ月費やせる経済的負担の金額	33	70.2
<input type="checkbox"/> 利用者・家族への指導内容・理解度	41	87.2
<input type="checkbox"/> 必要な医療処置の確認と本人の意思	40	85.1
<input type="checkbox"/> トラブルの有無	40	85.1
<input type="checkbox"/> 物品の準備状況	40	85.1
<input type="checkbox"/> 使用方法の理解度	38	80.9
<input type="checkbox"/> 必要な医療機器を選択できているか	35	74.5

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> ケアチームの構築と連携・緊急時の連絡方法	44	93.6
<input type="checkbox"/> ケアチームの構築と連携・ケアチームの連携不足	13	27.7
<input type="checkbox"/> 専門職と本人・家族の関係・ケアチームの構築と連携・家族と専門職との認識の一致	40	85.1
<input type="checkbox"/> ケアサービスのマネージメント・本人・家族が希望するサービス	43	91.5
<input type="checkbox"/> ケアサービスのマネージメント・専門職から見た必要なサービス	38	80.9
<input type="checkbox"/> 医療処置と機器・必要な医療処置	39	83.0
<input type="checkbox"/> 医療処置と機器・必要な医療機器	31	66.0

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> ケアチームの構築と連携・緊急時の連絡方法	44	93.6
<input type="checkbox"/> ケアチームの構築と連携・ケアチームの連携不足	13	27.7
<input type="checkbox"/> 専門職と本人・家族の関係・ケアチームの構築と連携・家族と専門職との認識の一致	40	85.1
<input type="checkbox"/> ケアサービスのマネージメント・本人・家族が希望するサービス	43	91.5
<input type="checkbox"/> ケアサービスのマネージメント・専門職から見た必要なサービス	38	80.9
<input type="checkbox"/> 医療処置と機器・必要な医療処置	39	83.0
<input type="checkbox"/> 医療処置と機器・必要な医療機器	31	66.0

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡先を紙に書いて渡す	46	97.9
<input type="checkbox"/> 緊急時のファーストコールの確認	46	97.9
<input type="checkbox"/> ケア提供者間の情報の提供、共通の理解を把握・確認・調整を図る	43	91.5
<input type="checkbox"/> ケアプランの内容を理解・実施する	37	78.7
<input type="checkbox"/> 住診医がいない場合は、住診医の必要性を説明し、導入する	33	70.2
<input type="checkbox"/> 本人、家族も含めたケアチームカンファレンスをする	23	48.9
<input type="checkbox"/> 専門職としての役割説明をする	46	97.9
<input type="checkbox"/> 専門職と家族の良好な関係を構築する	44	93.6
<input type="checkbox"/> 必要物品の選定、調達、準備をする	42	89.4
<input type="checkbox"/> 負担する金額とすり合わせをしながら状態に合ったサービスを導入する	37	78.7
<input type="checkbox"/> 医療機器・処置方法は本人・家族の意向に合ったものであるのか確認する	42	89.4
<input type="checkbox"/> 足りないものについては調運する	37	78.7
<input type="checkbox"/> 医療機器、処置の指導	35	74.5

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 医療者間(医師、看護師等)の連携状況	47	100.0
<input type="checkbox"/> 緊急時に家族・利用者が専門職へ連絡をとる方法を知っているか	47	100.0
<input type="checkbox"/> 緊急時におけるファーストコールの確認	47	100.0
<input type="checkbox"/> 住診医の有無	45	95.7
<input type="checkbox"/> 利用者、家族の思いを他の医療スタッフが知っているか	45	95.7
<input type="checkbox"/> ケアマネージャーを中心としたケアプランを多職種で共有しているか	39	83.0
<input type="checkbox"/> 専門職と家族・利用者間に認識のずれはないか	45	95.7
<input type="checkbox"/> 専門職との関係を把握	44	93.6
<input type="checkbox"/> 必要な介護用品(エアーマット、モーターベッド、ポータブルトイレ、車椅子など)があるか	43	91.5
<input type="checkbox"/> 利用者の外出(通院)状況の把握	33	70.2
<input type="checkbox"/> 在宅療養のために1ヶ月費やせる経済的負担の金額	33	70.2
<input type="checkbox"/> 利用者・家族への指導内容・理解度	41	87.2
<input type="checkbox"/> 必要な医療処置の確認と本人の意思	40	85.1
<input type="checkbox"/> トラブルの有無	40	85.1
<input type="checkbox"/> 物品の準備状況	40	85.1
<input type="checkbox"/> 使用方法の理解度	38	80.9
<input type="checkbox"/> 必要な医療機器を選択できているか	35	74.5

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 緊急時に正確に連絡をとることができる	47	100.0
<input type="checkbox"/> ケアチームとして利用者・家族を支援できる体制が確立する	41	87.2
<input type="checkbox"/> ケア提供者との連携がスムーズで、チームに対する不安がない	40	85.1
<input type="checkbox"/> 医療者間との信頼関係が築ける	43	91.5
<input type="checkbox"/> 利用者・家族が思っていることが共通の認識として医療職にも把握できている	41	89.1
<input type="checkbox"/> 必要な物品がすべてそろう	43	91.5
<input type="checkbox"/> 利用者の活動範囲を確保できる	35	74.5
<input type="checkbox"/> 必要な処置方法が理解できる	36	76.6
<input type="checkbox"/> トラブルなく処置が提供できる	36	76.6
<input type="checkbox"/> 必要な医療機器が何か把握することができる	34	72.3
<input type="checkbox"/> 意向に沿わないものは何か伝えることができる	32	68.1

4. スピリチュアリティへの援助 自己の人生に意味・価値を見出せること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)	判断	件数	出現率 (%)	ケア行動	件数	出現率 (%)	アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 今までの仕事、趣味、生き方など利用者の人生観 <input type="checkbox"/> 利用者のやりたいこと(ニーズ) <input type="checkbox"/> 気になること、やり残していることはないか	38	80.9	<input type="checkbox"/> 生きることの目標(生きてどこか)・生きることの目標がある <input type="checkbox"/> 生きることの目標(生きてどこか)・存在していること(生きてどこか)・存在していること(生きてどこか)・存在していること(生きてどこか)がある	14	29.8	<input type="checkbox"/> 家族と本人の間で、気になること、遺り残していることが何か、そのような会話ができれば双方に働きかける <input type="checkbox"/> 本人の気になること、やり残していることを実現できるよう調整する	28	59.6	アウトカム(期待される成果) <input type="checkbox"/> 気になること、やりたいことなどを表出することができる <input type="checkbox"/> 生きていることの実感があり、目標をもてる	27	57.4
	<input type="checkbox"/> 信仰宗教の有無 <input type="checkbox"/> 家族の楽しみとなるイベントはないか	30	63.8	<input type="checkbox"/> 生きることの目標(生きてどこか)・遺書・遺言がある	14	29.8	<input type="checkbox"/> 本人、家族の楽しみとなるイベントを準備、調整する	22		46.8	
	<input type="checkbox"/> 民間療法利用の有無 <input type="checkbox"/> 遺書、遺言の希望の有無	28	59.6		2	4.3		17		36.2	
	26	55.3									
	25	53.2									
	14	29.8									

5. デスマネジメント 死にゆく人と家族が、死を受容できるようになるまでのプロセス(否認、怒り、取引、抑うつ、愛容)を成し遂げられるようにマネジメントすること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)	判断	件数	出現率 (%)	ケア行動	件数	出現率 (%)	アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族は利用者の疾病、予後を理解しているか	45	95.7	56 <input type="checkbox"/> 利用者の死に対する不安・恐怖	22	46.8	<input type="checkbox"/> 本人、家族に在宅で生活することの安心感を与える	44	93.6	<input type="checkbox"/> 今後どのように過ごしていきたいかを表現できる	39	83.0
<input type="checkbox"/> 家族が急変時の対処方法について知っているか	45	95.7	57 <input type="checkbox"/> 家族の死に対する不安・恐怖	40	85.1	<input type="checkbox"/> 在宅生活をどのように過ごして生きたいのか、本人・家族の思いを汲みとる	44	93.6	<input type="checkbox"/> 本人・家族が在宅で生活することの安心感を得ることができる	38	80.9
<input type="checkbox"/> 家族は死を受容しているか、死に対する受け止め方確認、支援の必要性の観察、判断	44	93.6	62 <input type="checkbox"/> 利用者の死の受容プロセス・受容	20	42.6	<input type="checkbox"/> 死に対する恐怖や不安、どのように受け止めているのか気持ちを引き出す	32	68.1	<input type="checkbox"/> 本人・家族が死に対する不安や恐怖を表出することができる	29	61.7
<input type="checkbox"/> 今後の病状変化に対してどのように対処していきたいと考えるか(入院治療・終末期入院・在宅死)	44	93.6	58 <input type="checkbox"/> 利用者の死の受容プロセス・否認	9	19.1						
<input type="checkbox"/> 利用者・家族が長期まで専門職の助けを借りて在宅療養ができると考えているか(看取りの質)	43	91.5	61 <input type="checkbox"/> 利用者の死の受容プロセス・抑うつ	9	19.1						
<input type="checkbox"/> 利用者の疾病、予後の理解	42	89.4	60 <input type="checkbox"/> 利用者の死の受容プロセス・取引	6	12.8						
<input type="checkbox"/> 家族の延命処置の希望の有無	41	87.2	59 <input type="checkbox"/> 利用者の死の受容プロセス・怒り	4	8.5						
<input type="checkbox"/> 利用者が望んでいる死を迎える場所(在宅、ホスピス、病院)を決めているか	39	83.0	67 <input type="checkbox"/> 家族の死の受容プロセス受容	32	68.1						
<input type="checkbox"/> 病名告知の有無	38	80.9	65 <input type="checkbox"/> 家族の死の受容プロセス取引	11	23.4						
<input type="checkbox"/> 利用者の死への受け止め方、支援の必要性の観察・判断	36	76.6	63 <input type="checkbox"/> 家族の死の受容プロセス否認	9	19.1						
<input type="checkbox"/> 利用者の延命処置の希望の有無	36	76.6	66 <input type="checkbox"/> 家族の死の受容プロセス抑うつ	8	17.0						
<input type="checkbox"/> 家族は告知を希望しているか、またしているか	33	70.2	64 <input type="checkbox"/> 家族の死の受容プロセス怒り	3	6.4						
<input type="checkbox"/> 死に対する考え(死に対する恐怖や不安について)話しているか	26	55.3									

6. 家族・親族との関係調整 本人を中心に家族関係の変化に応じて、ケアの方向性およびどのような最後を迎えるか意識を統一すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族のケアへの参加状況	46	97.9
<input type="checkbox"/> 家族の介護への意欲	46	97.9
<input type="checkbox"/> 利用者と親族との関係を把握、キーパーソンの有無	44	93.6
<input type="checkbox"/> 利用者と家族の関係 家族としての役割 遂行等されているか	43	91.5
<input type="checkbox"/> 利用者 - 家族間のコミュニケーションの状況	41	87.2
<input type="checkbox"/> 利用者と家族が同じ気持ちで死に向かっているか	27	57.4
<input type="checkbox"/> 介護者の精神的負担	46	97.9
<input type="checkbox"/> 介護知識・介護指導の必要性の観察・判断	45	95.7
<input type="checkbox"/> 介護者の健康状態	45	95.7
<input type="checkbox"/> 介護者の身体的負担	45	95.7
<input type="checkbox"/> 介護者が介護についてどこまで「自分で出来る」「専門職に頼む」と考えているのか	42	89.4

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 本人・家族・親族の関係 本人・家族・親族のコミュニケーション	35	74.5
<input type="checkbox"/> 本人・家族・親族の関係 家族成員としての役割変化	29	61.7
<input type="checkbox"/> 介護力・介護体制・介護負担感	36	76.6
<input type="checkbox"/> 介護力・介護体制・介護知識の不足	26	55.3
<input type="checkbox"/> 介護力・介護体制・介護拒否	3	6.4

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 見取りの場を家族、親族内で意見が統一できるよう支援する	39	83.0
<input type="checkbox"/> 家族成員としての役割が遂行できるよう援助する	38	80.9
<input type="checkbox"/> 介護者の訴えを傾聴する	45	95.7
<input type="checkbox"/> 効果的な介護方法の指導	44	93.6
<input type="checkbox"/> 社会資源を有効活用する	37	78.7
<input type="checkbox"/> 介護者の代替を検討する	36	76.6

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族成員の役割変化を家族員が受容できる	31	67.4
<input type="checkbox"/> 利用者と家族が同じ気持ちで死に向かっていることができる	27	57.4
<input type="checkbox"/> 介護・処置方法が理解できる	42	89.4
<input type="checkbox"/> 肉体的精神的負担が軽減し、安定した介護ができる	35	74.5

7. 基本的ニーズへの援助 日常生活を援助しているのに欠けている、主に身体機能を補うための援助

アセスメント内容	件数	出現率 (%)	判断	件数	出現率 (%)	ケア行動	件数	出現率 (%)	アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 清潔の状態、保清方法の有無	44	93.6	<input type="checkbox"/> ADL低下の可能性・セルフケアの不足	36	76.6	<input type="checkbox"/> 1日の生活リズムを知る	42	89.4	<input type="checkbox"/> 介護者が正確なケアを実施できる	42	89.4
<input type="checkbox"/> 排泄方法の確認	43	91.5	<input type="checkbox"/> ADL低下の可能性・転倒などの危険	29	61.7	<input type="checkbox"/> 利用者・家族のニーズを把握する	42	89.4	<input type="checkbox"/> 自分の意思を伝えられる	36	76.6
<input type="checkbox"/> 寝具交換必要性の観察判断	41	87.2	<input type="checkbox"/> ADL低下の可能性・心地よい生活の欠如	29	61.7	<input type="checkbox"/> 保清の援助、身体清潔のための教育	42	89.4	<input type="checkbox"/> 転倒しない	31	66.0
<input type="checkbox"/> 1日の生活状況(生活リズム)の観察	39	83.0				<input type="checkbox"/> 介護方法の教育指導	41	87.2	<input type="checkbox"/> 日常生活を心地よいと感じられる	23	48.9
<input type="checkbox"/> ADL、IADLの状態	38	80.9				<input type="checkbox"/> 口腔ケア	37	78.7			
<input type="checkbox"/> 心地よいと思う状態	37	78.7				<input type="checkbox"/> ADL、IADLの介助実施・教育	36	76.6			
<input type="checkbox"/> 会話の状態・言語、非言語、視線等	37	78.7				<input type="checkbox"/> 転倒予防の指導	35	74.5			
<input type="checkbox"/> 転倒等危険性の観察判断	35	74.5									
<input type="checkbox"/> 痴呆の有無、精神状態の観察	35	74.5									
<input type="checkbox"/> 生活に求めていることばはなにか	32	68.1									

2. 心理・精神的援助 ターミナル期にみられる利用者・家族の不安、孤独感、おそれ、うつ、怒り、動揺に対してケアチームメンバーが傾聴し、共感し、利用者が安心して自分の考え、気持ちが出せるような関係を確立すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 病状理解・予後の理解の実感	32	97.0
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の精神的負担	31	93.9
<input type="checkbox"/> 精神状態の有無、観察(言語的、非言語的)	31	93.9
<input type="checkbox"/> 在宅療養の中で求めるものや思い	31	93.9
<input type="checkbox"/> 在宅療養の中で困っていること、不安に思うこと、心配していること、手伝わなければならないこと	31	93.9
<input type="checkbox"/> 在宅療養に対する理解度	30	90.9
<input type="checkbox"/> 利用者に対する家族の反応	29	87.9
<input type="checkbox"/> 表情が硬い、言葉数	28	84.8
<input type="checkbox"/> 否定的言動が増えていないか	23	69.7
<input type="checkbox"/> 夜間良眠できているか	31	93.9

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・不安	30	93.8
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・動揺	15	46.9
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・苛立ち	12	37.5
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・恐れ	11	34.4
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・孤独感	6	18.8
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・うつ	6	18.8
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・怒り	5	15.6
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・せん妄の出現	11	34.4
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・不安があり眠れない	9	28.1
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・痛みがあるために眠れない	6	18.8
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の心理・精神的負担・器具などの生活環境のために眠れない	1	3.1

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 在宅療養することは可能であることを伝える	32	100.0
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の思いを医師に伝えられないうちは、代弁者となる	32	100.0
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の思いを引き出し、受容する	30	93.8
<input type="checkbox"/> 病状が変化することで、今の思いに変化があってもよいことを伝える	30	93.8
<input type="checkbox"/> 誤っている認識については、修正をする	24	75.0
<input type="checkbox"/> なぜ眠れないのか、利用者・家族の思いを引き出す	17	53.1
<input type="checkbox"/> 利用者・家族と相談し、必要であれば入眠剤、安定剤など使用	17	53.1
<input type="checkbox"/> 入眠剤副作用を取り除く	9	28.1
<input type="checkbox"/> 鎮痛剤の増加	9	28.1

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 精神的な不安をはかることができる	25	78.1
<input type="checkbox"/> 医師・看護師に支えられていると実感している	25	78.1
<input type="checkbox"/> 今後どのように過ごしていくかを表現できる	24	75.0
<input type="checkbox"/> 在宅生活を安心して送る自信がもてる	22	68.8
<input type="checkbox"/> 夜間良眠できる	15	46.9
<input type="checkbox"/> 夜間不安なく過ごすことができる	12	37.5

3. 社会的援助 必要なケアが適切に提供されるように、人、物、経済面等の環境作りを支援すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 医療者間(医師、看護師等)の連携状況	32	97.0
<input type="checkbox"/> 緊急時に家族・利用者が専門職へ連絡をとる方法を知っているか	31	93.9
<input type="checkbox"/> 緊急時におけるファーストコールの確認	30	90.9
<input type="checkbox"/> 利用者、家族の思いを他の医療スタッフが知っているのか	29	87.9
<input type="checkbox"/> 専門職との関係を把握	30	90.9
<input type="checkbox"/> 専門職と家族・利用者間に認識のずれはないか	29	87.9
<input type="checkbox"/> 必要な介護用品(エアーマット、モーターベッド、ホータブルトイレ、車椅子など)があるか	29	87.9
<input type="checkbox"/> 利用者の外出(通院)状況の把握	22	66.7
<input type="checkbox"/> 必要な医療処置の確認と本人の意思	28	87.5
<input type="checkbox"/> 利用者・家族への指導内容・理解度	28	87.5
<input type="checkbox"/> トラブルの有無	27	84.4
<input type="checkbox"/> 物品の準備状況	24	75.0
<input type="checkbox"/> 必要な医療機器を選択できているか	22	66.8
<input type="checkbox"/> 使用方法の理解度	22	66.8

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> ケアチームの構築と連携・緊急時の連携方法	28	87.5
<input type="checkbox"/> ケアチームの構築と連携・ケアチームの連携不足	10	31.3
<input type="checkbox"/> 専門職と本人・家族の関係・家族と専門職との認識の統一	28	87.5
<input type="checkbox"/> 専門職と本人・家族の関係・専門職からみた必要なサービス	26	81.3
<input type="checkbox"/> 専門職と本人・家族の関係・本人・家族が希望するサービス	24	75.0
<input type="checkbox"/> 医療処置と機器・必要な医療処置	28	87.5
<input type="checkbox"/> 医療処置と機器・必要な医療機器	22	68.8

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> ケアプランの内容を理解・実施する	31	96.9
<input type="checkbox"/> 緊急時のファーストコールの確認	31	96.9
<input type="checkbox"/> ケア提供者間の情報の提供・共通の理解を把握・確認・調整を図る	30	93.8
<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡先を紙に書いて置く	30	93.8
<input type="checkbox"/> 本人、家族も含めたケアチームカンファレンスをする	14	43.8
<input type="checkbox"/> 専門職と家族の良好な関係を構築する	30	93.8
<input type="checkbox"/> 必要物品の選定・調達、準備をする	30	93.8
<input type="checkbox"/> 医療機器、処置の指導	28	87.5
<input type="checkbox"/> 医療機器・処置方法は本人・家族の意向にそったものであるのか確認する	28	87.5
<input type="checkbox"/> 足りないものについては調達する	25	78.1

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 緊急時に正確に連絡をとることができる	30	93.8
<input type="checkbox"/> ケアチームとして利用者・家族を支援できる	27	84.4
<input type="checkbox"/> ケア提供者との連携がスムーズで、チームに対する不安がない	23	71.9
<input type="checkbox"/> 医療者間との信頼関係が築けている	26	81.3
<input type="checkbox"/> 利用者・家族が思っていることが共通の認識として医療チームにも把握できている	23	71.9
<input type="checkbox"/> 必要な物品がすべてそろい、問題なく活用できている	25	78.1
<input type="checkbox"/> 利用者の活動範囲を確保できる	20	62.5
<input type="checkbox"/> トラブルなく処置が提供できる	26	83.9
<input type="checkbox"/> 必要な処置方法が理解できる	26	81.3
<input type="checkbox"/> 今後の医療処置・治療的なことについてどうしたいのか伝えることができる	23	71.9
<input type="checkbox"/> 必要な医療機器を自分で選択することができる	18	56.3

4. スピリチュアルペインへの援助 自己の人生に意味・価値を見出せること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 気になること、やり残していることはないか	22	68.8
<input type="checkbox"/> 今までの仕事、趣味、生き方など利用者の人生観	20	62.5
<input type="checkbox"/> 家族の楽しみとなるイベントはなにか	20	62.5
<input type="checkbox"/> 利用者のやりたいこと(ニーズ)	18	56.3
<input type="checkbox"/> 遺書、遺言の希望の有無	8	25.0

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 生きることの目標(生きていくこと、存在していること、目標はどこか)、生きることの目標がある	10	31.3
<input type="checkbox"/> 生きることの目標(生きていくこと、存在していること、目標はどこか)、気になっていることややり残していることがある	9	28.1
<input type="checkbox"/> 生きることの目標(生きていくこと、存在していること、目標はどこか)、遺書、遺言がある	3	9.4

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族と本人の間で、気になること、やり残していることが何か、そのような会話ができれば、そのように働きかける	16	50.0
<input type="checkbox"/> 本人の気になること、やり残していることを実現できるように調整する	14	43.8
<input type="checkbox"/> 本人、家族の楽しみとなるイベントを実施する	11	34.4
<input type="checkbox"/> 本人希望であれば、遺書、遺言を残せるよう支援する	3	9.4
<input type="checkbox"/> 宗教にあわせた関係者(神父・牧師)と会えるようセッティングする	2	6.3

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 気になること、やりたいことなどを実行している	13	40.6
<input type="checkbox"/> 生きていることの実感があり、目標がある	11	34.4

5. デスマネジメント 死にゆく人と家族が、死を受容できるようになるまでのプロセス(否認、怒り、取引、抑うつ、受容)を成し遂げられるようにマネジメントすること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族は利用者の疾病、予後を理解しているか	31	93.9
<input type="checkbox"/> 今後の病状変化に対してどのような対処していきたいと考えているか(入院治療・療養期入院・在宅死)	31	93.9
<input type="checkbox"/> 利用者、家族が最期まで専門職の助けを借りて在宅療養ができると考えているか(看取りの覚悟)	31	93.9
<input type="checkbox"/> 家族は死を受容しているか、死に対する受け止め方(確認、支援の必要性の観察、判断)	30	93.8
<input type="checkbox"/> 家族が急変時の対処方法について知っているか	28	84.8
<input type="checkbox"/> 家族の延命処置の希望の有無	28	84.8
<input type="checkbox"/> 利用者が望んでいる死を迎える場所(在宅、ホスピス、病院)を決めているか	25	75.8
<input type="checkbox"/> 利用者の疾病、予後の理解	23	69.7
<input type="checkbox"/> 利用者の死への受け止め方、支援の必要性の観察、判断	23	69.7
<input type="checkbox"/> 死に対する考え方(死に対する恐怖や不安について)話しているか	23	69.7
<input type="checkbox"/> 利用者の延命処置の希望の有無	23	69.7

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族の死に対する不安・恐怖	28	81.3
<input type="checkbox"/> 利用者の死に対する不安・恐怖	17	53.1
<input type="checkbox"/> 利用者の死の受容プロセス・受容	9	28.1
<input type="checkbox"/> 利用者の死の受容プロセス・抑うつ	8	25.0
<input type="checkbox"/> 利用者の死の受容プロセス・否認	4	12.5
<input type="checkbox"/> 利用者の死の受容プロセス・怒り	4	12.5
<input type="checkbox"/> 利用者の死の受容プロセス・取引	3	9.4
<input type="checkbox"/> 家族の死の受容プロセス・受容	27	84.4
<input type="checkbox"/> 家族の死の受容プロセス・取引	6	18.8
<input type="checkbox"/> 家族の死の受容プロセス・怒り	5	15.6
<input type="checkbox"/> 家族の死の受容プロセス・否認	5	15.6

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 本人、家族に在宅で生活することの安心感を与える	31	96.9
<input type="checkbox"/> 在宅生活はどうか、心地よく生活できているのか、本人、家族の思いを汲みとる	29	90.6
<input type="checkbox"/> 死に対する恐怖や不安、どのように受け止めているのか(気持ちを引き出す)	25	78.1

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 本人、家族が死に対する不安や恐怖を表現することができる	26	81.3
<input type="checkbox"/> 本人、家族が在宅で生活することの安心感を持っている	26	81.3
<input type="checkbox"/> 今後どのように過ごしていきたいかを表明できる	22	68.8
<input type="checkbox"/> 死を自然なこととして受け入れられる	21	65.6

6. 家族・親族との関係調整 本人を中心に家族関係の変化に応じて、ケアの方向性およびどのような最後を迎えるか意識を統一すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族のケアへの参加状況	32	97.0
<input type="checkbox"/> 家族の介護への意欲	32	97.0
<input type="checkbox"/> 利用者－家族間のコミュニケーションの状況	29	87.9
<input type="checkbox"/> 利用者と家族の関係 家族としての役割履行等されているか	28	84.8
<input type="checkbox"/> 利用者と親族との関係を把握、キーパーソンの有無	28	84.8
<input type="checkbox"/> 利用者と家族が同じ気持ちで死に向かっているか	20	60.6
<input type="checkbox"/> 介護者の健康状態	32	97.0
<input type="checkbox"/> 介護者の精神的負担	31	96.9
<input type="checkbox"/> 介護者が介護についてどこまで「自分で出来る」「専門職に頼む」と考えているのか	31	93.9
<input type="checkbox"/> 介護者の身体的負担	31	93.9
<input type="checkbox"/> 介護知識・介護指導の必要性の観察・判断	30	90.9

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 本人・家族・親族の関係・本人・家族・親族のコミュニケーション	25	78.1
<input type="checkbox"/> 本人・家族・親族の関係・家族成員としての役割変化	21	65.6
<input type="checkbox"/> 介護力・介護体制・介護負担感	25	78.1
<input type="checkbox"/> 介護力・介護体制・介護知識の不足	13	40.6
<input type="checkbox"/> 介護力・介護体制・介護拒否	2	6.3

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 見取りの場を家族・親族内で意見が統一できるように支援する	30	93.8
<input type="checkbox"/> 家族成員としての役割が履行できるように援助する	30	93.8
<input type="checkbox"/> 家族の気持ちを理解する	32	100.0
<input type="checkbox"/> 効果的な介護方法の指導	30	93.8
<input type="checkbox"/> 社会資源を有効活用する	28	81.3
<input type="checkbox"/> 介護者の代替を検討する	23	71.9

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 利用者・家族がそれぞれの役割を遂行できる	25	78.1
<input type="checkbox"/> 利用者と家族が同じ気持ちで死に向かっていることができる	20	62.5
<input type="checkbox"/> 介護・処置方法を理解し、実行できる	30	93.8
<input type="checkbox"/> 肉体的精神的負担が軽減し、安定した介護ができる	27	84.4

7. 基本的ニーズへの援助 日常生活を援助しているのに欠けている、主に身体機能を補うための援助

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 心地よいと思う状態	31	96.9
<input type="checkbox"/> 会話の状態・言語、非言語、視線等	28	87.5
<input type="checkbox"/> 生活に求めていることはなにか	20	62.5

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> ADL低下の可能性・セルフケアの不足	24	75.0
<input type="checkbox"/> ADL低下の可能性・心地よい生活の欠如	21	65.6
<input type="checkbox"/> ADL低下の可能性・転倒などの危険	12	37.5

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 利用者・家族のニーズを把握する	30	93.8
<input type="checkbox"/> ADL、IADLの介助実施・教育	25	78.1

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 自分の意思を伝えられる	23	71.9
<input type="checkbox"/> 日常生活を心地よくと感じている	15	46.9

1.疼痛その他の苦痛症状のマネジメント 痛みをはじめとした悪心・嘔吐、食欲不振、全身倦怠、呼吸困難などの身体症状を緩和すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
呼吸状態の観察	45	97.8
発熱または感染症状の有無	41	89.1
水分摂取量(ml/day/ラウス)	41	89.1
消化器症状の観察	37	80.4
嚥下状況	35	76.1
心音の聴診	29	63.0
浸出液の有無	17	37.0
皮膚発疹の有無	39	84.8
皮膚の観察(浮腫・痺・圧迫・浸疹)	41	89.1
ステージの有無(発赤・水泡形成・表皮剥離)	36	78.3
意識の有無	22	47.8
意識レベル(必要以上にアウトトしてい ないか)	38	82.6
鎮痛剤の有無	30	65.2
疼痛の程度	6	13.0
副作用症状の有無	32	69.6
本人の望む除痛と副作用のバランスが保たれているか	25	54.3
副作用症状について本人・家族は理解しているか	25	54.3
緩和される副作用と耐えられない副作用	22	47.8
疼痛増強時の対応方法	31	67.4
薬の使用方法について理解しているか	30	65.2
鎮痛剤の副作用を利用者・家族が知っているか	27	58.7
家族が自分で行える緩和ケアを知っているか	27	58.7

判断	件数	出現率 (%)
身体症状の変化・悪化・呼吸困難	37	80.4
身体症状の変化・悪化・脱水	31	67.4
身体症状の変化・悪化・浮腫	27	58.7
身体症状の変化・悪化・便秘	26	56.5
身体症状の変化・悪化・食欲不振	25	54.3
身体症状の変化・悪化・嘔吐	23	50.0
身体症状の変化・悪化・腹痛	22	47.8
身体症状の変化・悪化・心不全	21	45.7
身体症状の変化・悪化・嘔気・嘔吐	19	41.3
身体症状の変化・悪化・傾倒性筋攣	17	37.0
身体症状の変化・悪化・胸水貯留	15	32.6
身体症状の変化・悪化・腹水貯留	15	32.6
身体症状の変化・悪化・下血	14	30.4
身体症状の変化・悪化・吐血	5	10.9
身体症状の変化・悪化・褥瘡	33	71.7
身体症状の変化・悪化・しびれ	7	15.2
褥そう	27	58.7
皮膚トラブル	24	52.2
ペインコントロール・至適濃度	21	45.7
ペインコントロール・疼痛域	15	32.6
ペインコントロール・中量域	6	13.0
副作用症状・便秘	23	50.0
副作用症状・嘔気	16	34.8
副作用症状・嘔気・嘔吐	15	32.6
副作用症状・呼吸抑制	12	26.1
副作用症状・口渇	10	21.7
副作用症状・混乱	9	19.6
副作用症状・尿閉	4	9.1
副作用症状・浮腫	3	6.5
副作用症状・ミオクローヌス	1	2.2
ペインコントロールに関する家族の知識・問題ない	25	54.3
ペインコントロールに関する家族の知識・使用方法がわからない	7	15.2
ペインコントロールに関する家族の知識・副作用症状がわからない	6	13.0

ケア行動	件数	出現率 (%)
呼吸状態の変化の予測について説明・不規則・無呼吸の出現があるが、本人に苦痛の自覚はないことを説明	42	91.3
呼吸しやすい体位を確保する	40	87.0
嚥下状況が悪ければ、無理に経口より摂取しないよう家族に指導する	39	84.8
主治医と相談し、経口を行うべきか本人・家族の意向もまよえ検討する	33	71.7
クーリング	31	67.4
水分摂取量の調整(水分摂取量は減少させ、脱水気味にする)	31	67.4
吸引器・吸入器などの導入の検討	30	65.2
がんの進行状況・転移の有無の確認	26	56.5
水分量を増やすことで痰の量が減る、茶い思いませせることもあることを説明	26	56.5
点滴中止について家族が納得できるように説明	19	41.3
リンパマッサージ	18	39.1
出血のある部分には、赤いタオルを敷くなど家族を動揺させないように配慮する	29	63.0
本人の訴えを傾聴する	28	60.9
マッサージ	28	60.9
症状にあわせて保湿・軟膏処置	37	80.4
ステージに合わせて褥そう処置・予防	31	67.4
クッションを用いたり、体位の工夫	35	76.1
マッサージ	25	54.3
スケールを使用し痛みを判断する	20	43.5
嚥下状況に合わせて、内服薬から貼付薬などに変更する	18	39.1
プロトコルに沿って、薬剤の変更、増量などを要する	18	39.1
除痛剤(ステプ1~3)を使用し、どの段階で疼痛コントロールされているのかを把握する	15	32.6
音楽療法	7	15.2
アロマテラピー	4	8.7
鎮痛剤・鎮下剤・麻薬・洗剤などに代替コントロールを要する	29	63.0
いずれかの副作用症状が現れたときに主治医に相談し、対処する	29	63.0
副作用症状として現れてくること(嘔気・嘔吐、便秘、呼吸抑制など)を本人・家族に説明する	26	56.5
鎮痛剤	23	50.0
どのようなときに看護師に連絡するべきか指導する	34	73.9
疼痛増強時の対応方法を利用者・家族に指導する	31	67.4
薬剤の使用法の指導・教育	29	63.0
副作用症状として現れてくること(嘔気・嘔吐、便秘、呼吸抑制など)を本人・家族に説明する	26	56.5

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
家族が状態の変化を受容できる	39	84.8
呼吸苦が増えない	37	80.4
顔による窒息死とならない	34	73.9
浮腫が増えたり、外傷が不良な状態にならない	34	73.9
嘔吐・苦痛が増えない	27	58.7
新たな皮膚トラブルがない	33	71.7
褥そうが増えない	26	56.5
至適濃度で疼痛コントロールが保たれている	27	58.7
副作用症状が緩和する最小限である	31	67.4
家族が不安なく、疼痛コントロールができる	28	60.9
家族が副作用症状を理解できている	26	56.5

2. 心理・精神的援助 ターミナル期にみられる利用者・家族の不安、いらだち、孤独感、おそれ、うつ、怒り、動揺に対してケアチームメンバーが傾聴し、共感し、利用者が安心して自分の考え、気持ちが出せるような関係を確立すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の精神的負担	41	89.1
<input type="checkbox"/> 在宅療養の中で困っていること、不安に思うこと、心配していること、手伝わなければならないこと	41	89.1
<input type="checkbox"/> 病状理解・予後の理解の実態	41	89.1
<input type="checkbox"/> 利用者に対する家族の反応	40	87.0
<input type="checkbox"/> 夜間の睡眠状況	38	82.6

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 不安	36	78.3
<input type="checkbox"/> 動揺	22	47.8
<input type="checkbox"/> 恐れ	12	26.1
<input type="checkbox"/> うつ	8	17.4
<input type="checkbox"/> 苛立ち	5	10.9
<input type="checkbox"/> 孤独感	5	10.9
<input type="checkbox"/> 怒り	3	6.5
<input type="checkbox"/> せん妄の出現	13	28.3
<input type="checkbox"/> 痛みがあるために眠れない	10	21.7
<input type="checkbox"/> 寝具などの生活環境のために眠れない	1	2.2
<input type="checkbox"/> 不安があり眠れない	13	28.3

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 在宅死することは可能であることを伝える	44	95.7
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の思いを引き出し、賛容する	43	93.5
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の思いを医師に伝えられたいときは、代弁者となる	43	93.5
<input type="checkbox"/> 病状が変化することで、今の思いに変化がもたらされることを伝える	41	89.1
<input type="checkbox"/> 在宅にて過ごさせていること、過ごさせたことへの満足感を引き出し、実感を与える	41	89.1
<input type="checkbox"/> 本人・家族が感じていること求めていることは伝えられるよう支援する	39	84.8
<input type="checkbox"/> 語っている認識については、修正をする	34	73.9
<input type="checkbox"/> 夜間は本人のそばで家族が過ごせる体制をつくる	32	69.6
<input type="checkbox"/> なぜ眠れないのか、利用者・家族の思いを引き出す	20	43.5
<input type="checkbox"/> 利用者・家族と相談し、必要であれば入眠剤、安眠剤など使用	19	41.3
<input type="checkbox"/> 入眠剤副作用を取り除く	17	37.0

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族がケアチームスタッフに対して、自分の気持ちを表出することができる	43	93.5
<input type="checkbox"/> 医師・看護師に支えられていると実感している	39	84.8
<input type="checkbox"/> 在宅生活を安心して送る自信がもてる	37	80.4
<input type="checkbox"/> 家族が本人と向き合うことができる	33	71.7
<input type="checkbox"/> 本人が夜間不安なく過ごすことができる	24	52.2

3. 社会的援助 必要なケアが適切に提供されるように、人、物、経済面等の環境作りを支援すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 医療者間(医師、看護師等)の連携状況	44	95.7
<input type="checkbox"/> 緊急時におけるファーストコールの確認	43	93.5
<input type="checkbox"/> 利用者、家族の思いを他の医療スタッフが知っているのか	40	87.0
<input type="checkbox"/> 専門職と家族・利用者間に認識のずれはないか	41	89.1
<input type="checkbox"/> 必要な医療処置の確認と本人の意思	37	80.4
<input type="checkbox"/> 利用者・家族への指導内容・理解度	37	80.4
<input type="checkbox"/> 必要な医療機器を選択できているか	35	76.1
<input type="checkbox"/> トラブルの有無	34	73.9

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡方法	39	84.8
<input type="checkbox"/> ケアチームの連携不足	17	37.0
<input type="checkbox"/> 家族と専門職との認識の統一	36	78.3
<input type="checkbox"/> 医療処置と医療機器・本人・家族の意向	33	71.7
<input type="checkbox"/> 必要な医療処置	30	65.2
<input type="checkbox"/> 必要な医療機器	27	58.7

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 不安なときはいつでも連絡をするように家族に伝える	46	100.0
<input type="checkbox"/> 緊急時のファーストコールの確認	44	95.7
<input type="checkbox"/> 往診医に死が近いことを告げ、内服薬などの確認をする	41	89.1
<input type="checkbox"/> ケア提供者間の情報の提供、共通の理解を把握・確認・調整を図る	40	87.0
<input type="checkbox"/> ケアプランの内容を理解・実施する	39	84.8
<input type="checkbox"/> 専門職と家族の良好な関係を構築する	43	93.5
<input type="checkbox"/> 医療機器・処置方法は本人・家族の意向にそったものであるのか確認する	36	78.3
<input type="checkbox"/> 点滴・吸引器・在宅酸素療法を希望しているかどうか家族と相談する	35	76.1
<input type="checkbox"/> 医療機器、処置の指導	31	67.4

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 緊急時に正確に連絡をとることができる	46	100.0
<input type="checkbox"/> 医療者間との信頼関係が築けている	45	97.8
<input type="checkbox"/> ケアチームとして利用者・家族を支援できる	43	93.5
<input type="checkbox"/> ケア提供者との連携がスムーズで、チームに対する不安がない	42	91.3
<input type="checkbox"/> 利用者・家族が思っていることが共通の認識として医療職にも把握できている	42	91.3
<input type="checkbox"/> トラブルなく処置が提供できる	37	80.4
<input type="checkbox"/> 必要な処置方法が理解できる	36	78.3
<input type="checkbox"/> 必要な医療機器を家族が自己決定することができる	32	69.6
<input type="checkbox"/> 本人がどこまで機器を使用してほしいのか、家族と相談できている	24	52.2